



TBS テレビ、日本映画テレビ技術協会  
映像技術賞 2部門受賞！

日本映画テレビ技術協会主催の MPTE AWARDS 2019 映像技術賞において、TBS テレビのドラマ、日曜劇場『ブラックペアン』第一話(2018年4月22日放送)が2部門を同時受賞しました。

映像技術賞 テレビドラマ撮影部門で、TBS グループの株式会社東通の須田昌弘が、同賞 照明部門で、同じく TBS グループの株式会社ティ・エル・シーの鈴木博文が、それぞれ受賞しました。

2018年4月から6月にかけてTBS系列で放送された『ブラックペアン』は、二宮和也さん演じる天才的手技を持つ外科医が、最新手術機器の導入や医療学会をめぐる陰謀に、医者としてのプライドをかけて立ち向かう医療エンターテインメントです。緊迫した手術室のシーンでは、スピード感あふれ鋭く切り取られるカメラワークに、陰影のついた人物照明が加わり、複雑な人間関係が交錯する演者の内面や心情を、視聴者に強く感じさせることに成功しています。また、全編を通しての映像完成度にも、高い評価が集まりました。

今回の2部門での受賞により、TBS テレビのドラマ制作技術力を内外に示すことができました。

授賞式は、10月31日、六本木アカデミーヒルズにて行われる予定です。

尚、鈴木博文は、『ブラックペアン』第一話で、第38回日本照明家協会賞 テレビ部門大賞 及び 文部科学大臣賞も受賞しています。

須田昌弘は、長年のドラマでのテクニカルディレクターやチーフカメラマンとしての功績をたたえられ、2018年度の東京放送ホールディングスのベストパートナー賞も受賞しています。

以上

問い合わせ先:技術局技術推進部(代表:03-3746-1111)